

# デジタルもぐら3022J 訓練・試験放送

## 本体操作で防災訓練・試験放送を行う

「デジタルもぐら」を利用して、避難訓練及び試験放送をすることができます。  
地震の揺れが到着するまでのわずかな時間を有効に活用し、少しでも災害を減らすためには、デジタルもぐらを利用して、継続的な避難訓練を実施することが重要です。  
また、試験放送をすることで、デジタルもぐらと放送設備との連動確認や、  
その他外部機器(自動ドア・エレベーター)などとの連動確認を行うことができます。

避難訓練・試験放送を実施する場合には、以下(1)～(4)の中から適切な方法で実施して下さい。  
いずれの場合も、外部接続機器が起動しますのでご注意ください。

### (1)緊急地震速報の避難訓練及び試験放送

1. 「地震訓練ボタン」を2秒以上押します。
2. 「地震速報LED(赤)」が点滅し、「訓練LED」が点灯します。制御接点をONにすると共に、緊急地震訓練用の音声再生が始まります。音声の内容は「内蔵音源」を参照して下さい。
3. 「終了ボタン」を押されるか、緊急地震速報タイマー[設定3]で設定された時間まで緊急地震速報の訓練用音声再生が再生されます。その後、待機状態に戻ります。
4. 操作途中で、緊急警報放送または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。  
緊急地震速報の避難訓練・試験放送用の  
「訓練、訓練、♪NHKチャイム音♪、これは緊急地震速報の訓練です」の後内蔵定型音声アナウンスされます。

### (2)EWS(緊急警報放送)の避難訓練及び試験放送

1. 「警報訓練ボタン」を2秒以上押します。
2. 「警報放送LED(緑色)」と「訓練LED」が点灯します。制御接点をONにすると共に、EWS(緊急警報放送)訓練用の音声再生が始まります。音声の内容は「内蔵音源」を参照して下さい。
3. 「終了ボタン」を押すか、緊急警報放送タイマー[設定4]で設定された時間まで、EWS(緊急警報放送)の訓練用音声再生が再生されます。その後、待機状態に戻ります。
4. 操作途中で、EWS(緊急警報放送)または緊急地震速報を受信すると、操作はキャンセルされ、警報検出時の動作に移行します。タイマー設定が終了信号受信の場合、タイマーで終了しません。「終了ボタン」で終了してください。  
緊急警報放送(EWS)の避難訓練・試験放送用の  
「♪訓練放送です。♪オリジナル警報音♪ + 緊急警報放送を受信しました。  
津波の危険があります。情報を確認し警戒して下さい。」とアナウンスされます。

### (3)メロディ試験による試験放送

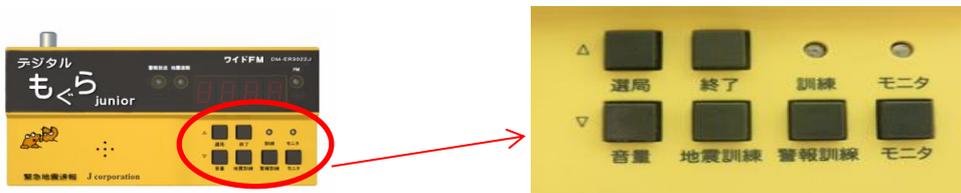
デジタルもぐらと放送設備との連動確認や、その他外部機器(自動ドア・エレベーター)などとの連動確認を行う時、通常の訓練用の放送ではなく、メロディーを利用して試験放送を実施します。

1. 「地震訓練」と「モニタ」のボタンを同時に2秒以上押すと、制御接点をONにすると共に、メロディー試験を開始します。
2. 「選局/音量 UP/DOWNボタン」でライン出力の音量を変更できます。
3. 「終了ボタン」を押すとライン出力音量を記憶し待機状態に戻ります。  
※サンプルメロディー音は弊社のオリジナルメロディー音です。

### (4)ラジオ試験による試験放送

緊急地震速報のメッセージを、内蔵音源でなくFMラジオで利用する場合には、必ずラジオ試験を実施して実際の音声レベルを調整して下さい。

1. 「警報訓練」と「モニタ」のボタンを同時に2秒以上押すと、制御接点をONにすると共に、ラジオ試験を開始します。
2. 「選局/音量 UP/DOWNボタン」でライン出力の音量を変更できます。
3. 「終了ボタン」を押すとライン出力音量を記憶し待機状態に戻ります。



総発売元



緊急地震速報のリーディングカンパニー

株式会社 Jコーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

業務管理センター 631-0011 奈良市押熊町557-7-4F

2版 181210